

# 委託事業実施内容報告書

## 平成22年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

### 【日本語教室の設置運営】

受託団体名 インターカルト日本語学校

#### 1 事業の趣旨・目的

近年、国内における日本語教育の対象となる外国人は、留学生、研修生などのほかに、定住者や日本人の配偶者などの日常生活を送る上で必要な日本語を学習する者が増加している。平成21年度の文化庁「外国人に対する日本語教育の現状について」の調査によると、その学習者数は、170,858人となっており、過去最高となっている。教師数においてはボランティア等の数が15,753人(54.0%)と最も多くなっており、ボランティアが定住者や日本人の配偶者といった地域における日本語学習者への教授担当者を担っていると思われる。

そのような現状の中、東京都台東区に位置する当校は、いわゆる外国人集住地区ではないものの、区の全人口の7%近くを外国人が占め、特に小中学校等の公教育における外国人に対する日本語教育は決して十分ではないという現状が聞かれる。

そのような背景の下、子ども対象の教室は、来日間もない子どもに対しての日本語指導から生活言語には問題は見られないが、学習言語のつまづきから、不得意となった教科を少しでも克服して、学校生活を楽しめるように手助けをするということを目的として開講をした。

また、お母さんの教室は、前年度の「親と子の日本語教室」で、子どもより母親の日本語に問題が見られたため、母親だけの教室を開講して、少しでも日本の生活を楽しく過ごすために「生活のための日本語」を学ぶことを目的として開講をした

#### 2 運営委員会の開催について

##### 【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
4月2日	インターカルト 日本語学校	西原鈴子 加藤早苗 大崎紀子 中館まり子 穂坂晴子 谷口真理	・講座について ・募集方法 ・行政との連携	・講座の目的の確認 ・講座の内容、講師の確認 ・行政とどう協力体制をとっていくか。 ・小学校・中学校との連携
7月30日	インターカルト 日本語学校	西原鈴子 大崎紀子	・状況の報告 ・教科指導について	・教室の状況報告 ・教科指導の進め方

		谷口真理		・苦手な科目に向かわせるには ・日本語を話したがらない子どもの対応について
12月13日	インターカルト 日本語学校	西原鈴子 大崎紀子 谷口真理	・状況の報告	・教室の状況報告 ・教科指導の難しさ
2月5日	インターカルト 日本語学校	西原鈴子 大崎紀子 谷口真理	・状況の報告 ・今年度の反省と 来年度に向けて	・学校との連携の取り方の 難しさと改善方法 ・教育委員会との連携の取 り方の難しさと改善方法 ・国語力を身につけるため には ・子どものお母さんたちから の声

【写真】



**3 日本語教室の開催について**

- ① 日本語教室の名称 「子育てのための日本語教室」
- ② 開催場所 インターカルト日本語学校
- ③ 学習目標
  - ・生活言語能力を高めること
  - ・学校・幼稚園とのつながりを強め、それによって子どもに良い影響を与えることができるようにすること
  - ・日本での生活、子育ての不安・疑問などを母親同士の出会いを通して解決できるように

すること

④ 使用した教材・リソース

- ・「こんにちは！日本語」(株)ジャパンタイムス
- ・「外国人母親のための日本語表現」(特定非営利活動法人ヤマガタヤポニカ)
- ・新聞チラシ、レシート      ・学校からのおたより、お知らせ
- ・絵カード                      ・在住外国人用携帯ヘルプカード
- ・トランプ、かるた

⑤ 受講者の募集方法

- ・チラシ作成
- ・台東区教育委員会に協力依頼
- ・台東区幼稚園・小学校チラシ掲載依頼
- ・子どもの教室に通っているお母さんに配布

⑥ 受講者の総数 10 人(延べ人数ではなく、受講した人数を記載すること。)

(出身・国籍別内訳 韓国 7人, 中国 2人, エジプト 1人)

⑦ 開催時間数(回数) 68 時間 (全 28 回)

① 日本語教室の名称 「まるごと日本語教室」

② 開催場所 インターカルト日本語学校

③ 学習目標

- ・遊びを通して日本語をスキルアップし、より自然な日本語を使えるようにする。
- ・日本語で考え、日本語で伝えることが少しでもできるようにする。
- ・間違いを気にせずに、日本語でより多く話す習慣を身につける。
- ・苦手としている教科の指導を行い、学校での授業にスムーズに参加できるようにする。
- ・学校だけではなく、外国人児童がのびのび学習できる学習の場を提供する。
- ・日本人の大人と接することにより、日本の文化、習慣、言葉の使い方など学ぶ。

④ 使用した教材・リソース

- ・小学校・中学校教科書と準拠したワークブック
- ・文字合わせカード                      ・日本地図パズル
- ・DVD(「さくら小学校へようこそ」)      ・積み木
- ・漢字カルタ                              ・ぬり絵
- ・絵カード                                  ・しりとりカード
- ・折り紙                                      ・絵本(「100 かいたてのいえ」等)
- ・トランプ                                  ・動詞絵合わせカード                      等

⑤ 受講者の募集方法

- ・チラシ作成

- ・台東区教育委員会に協力依頼
- ・台東区小学校・中学校チラシ配布

⑥受講者の総数 24 人(延べ人数ではなく、受講した人数を記載すること。)

(出身・国籍別内訳 韓国 18人, 中国 4人, エジプト 2人 )

⑦開催時間数(回数) 44.5 時間 (全 22 回)

⑧ 日本語教室の具体的内容「子育てのための日本語教室」

回	開催日時	時間数	参加人数	国籍・母語(人)	教授者・補助者人数	内容
1	5月10日 10:00 ~ 13:00	3h	6人	韓国・韓国語(6人)	教授者3 補助通訳1	自己紹介
2	5月17日 10:00 ~ 13:00	3h	5人	韓国・韓国語(5人)	教授者3 補助通訳1	日本の学校についての学習 「こんにちは!日本語」使用
3	5月24日 10:00 ~ 13:00	3h	7人	韓国・韓国語(7人)	教授者3 補助通訳1	病院についての学習 読売新聞の記事使用
4	5月31日 10:00 ~ 13:00	3h	5人	韓国・韓国語(5人)	教授者2 補助通訳1	災害・緊急・トラブルについて 在住外国人用携帯ヘルプカード使用
5	6月7日 10:00 ~ 13:00	3h	6人	韓国・韓国語(6人)	教授者3 補助通訳1	買い物についての学習 チラシ、レシート使用
6	6月14日 10:00 ~ 13:00	3h	6人	韓国・韓国語(6人)	教授者3 補助通訳1	買い物についての学習 チラシ、レシート使用
7	6月21日 10:00 ~ 13:00	3h	5人	韓国・韓国語(5人)	教授者3 補助通訳1	郵便局・銀行についての学習 貼り替えシール帳使用
8	6月28日 10:00 ~ 13:00	3h	6人	韓国・韓国語(6人)	教授者3 補助通訳1	形容詞の学習 絵カード使用
9	7月5日 10:00 ~ 12:30	2.5h	4人	韓国・韓国語(4人)	教授者3 補助通訳1	動詞の活用の学習 活用表使用

10	7月12日 10:00 ~ 13:00	3h	6人	韓国・韓国語（6人）	教授者3 補助通訳1	文を作る練習 「生活の絵本」使用
11	10月15日 10:00 ~ 12:00	2h	3人	韓国・韓国語（2人） エジプト・英語（1人）	教授者4 補助通訳1	自己紹介
12	10月28日 10:00 ~ 12:00	2h	3人	中国・中国語 韓国・韓国語（2人）	教授者4	自己紹介
13	10月29日 10:00 ~ 12:00	2h	3人	中国・中国語（2人） エジプト・英語	教授者4	語彙を増やす学習 しりとりカード使用
14	11月11日 10:00 ~ 13:00	3h	3人	中国・中国語（2人） エジプト・英語	教授者3	自己紹介 さいころ使用
15	11月12日 10:00 ~ 12:00	2h	2人	韓国・韓国語（2人）	教授者2	子どものことを中心に学校の こと、お母さん同士の付き合 い方などについて学習
16	11月25日 10:00 ~ 13:00	3h	4人	中国・中国語 韓国・韓国語（2人） エジプト・英語	教授者2	食事についての学習 「外国人母親のための子育て 日本語表現」使用
17	11月26日 10:00 ~ 12:00	2h	2人	韓国・韓国語（2人）	教授者2	漢字の学習 漢字トランプ使用
18	12月2日 10:00 ~ 12:00	2h	2人	中国・中国語 エジプト・英語	教授者4	取扱説明書の学習 電化製品の取扱説明書使用
19	12月10日 10:00 ~ 12:00	2h	4人	中国・中国語（2人） 韓国・韓国語（2人）	教授者4	漢字の学習 漢字カード使用
20	12月17日 10:00 ~ 12:00	2h	2人	韓国・韓国語（2人）	教授者4	身の回りのことについて話す 学習
21	1月14日 10:00 ~ 12:00	2h	3人	中国・中国語（1人） 韓国・韓国語（2人）	教授者3	お正月についての学習

22	1月27日 10:00 ~ 12:00	2h	1人	中国・中国語	教授者3	「です」「ます」の学習 「みんなの日本語」使用
23	1月28日 10:00 ~ 12:00	2h	2人	韓国・韓国語(2人)	教授者2	日頃考えていることや悩みを 話す
24	2月3日 10:00 ~ 12:00	2h	1人	中国・中国語	教授者2	小学校の入学準備についての 学習 「小学1年生」使用
25	2月4日 10:00 ~ 12:00	2h	3人	中国・中国語(1人) 韓国・韓国語(2人)	教授者3	かるたについての学習 「犬棒かるた」使用
26	2月17日 10:00 ~ 12:00	2h	1人	中国・中国語	教授者2	会話の練習 「みんなの日本語」使用
27	2月18日 10:00 ~ 12:00	2h	2人	韓国・韓国語	教授者2	会話の練習 さいころ使用
28	3月26日 10:00~ 12:30	2.5h	4人	中国・中国語(2人) 韓国・韓国語(2人) エジプト・英語(1人)	教授者4	たこ焼きパーティー すごろく大会 クイズ大会

日本語教室の具体的内容「まると日本語教室」

回	開催日時	時間 数	参加 人数	国籍・母語(人)	教授者・補 助者人数	内容
'1	5月22日 10:30 ~ 12:30	2h	6人	韓国・韓国語(5人) 中国・中国語(1人)	教授者5人	小1~中1教科指導 (国語・算数・数学・英語)
'2	6月12日 10:30 ~ 12:30	2h	6人	韓国・韓国語(6人)	教授者7人	小3~中1教科指導 (国語・算数・数学・英語) 小1発音指導
'3	6月23日 10:30 ~ 12:30	2h	6人	韓国・韓国語(5人) 中国・中国語(1人)	教授者6人 補助3人	小1~中1教科指導 (国語・算数・数学・英語)
'4	7月10日 10:30 ~	3h	6人	韓国・韓国語(5人) 中国・中国語(1人)	教授者6人	小1~中1教科指導 (国語・算数・数学・英語)

	13:30					
'5	7月24日 10:30 ~ 13:30	3h	7人	韓国・韓国語(5人) 中国・中国語(2人)	教授者6人	小1~中1教科指導 (国語・算数・数学・英語) 小4 日本語指導
'6	8月28日 10:30 ~ 12:30	2h	7人	韓国・韓国語(5人) 中国・中国語(2人)	教授者8人 補助通訳1人	小1~中1教科指導 (国語・算数・数学・英語) 小4 日本語指導
'7	8月30日 10:30 ~ 12:30	2h	9人	韓国・韓国語(7人) 中国・中国語(2人)	教授者7人 補助通訳1人	小1~中1教科指導 (国語・算数・数学・英語) 小4 日本語指導
'8	8月31日 10:30 ~ 13:30	3h	9人	韓国・韓国語(7人) 中国・中国語(2人)	教授者6人 補助通訳1人	小1~中1教科指導 (国語・算数・数学・英語) 小4 日本語指導
'9	9月11日 10:30 ~ 12:30	2h	7人	韓国・韓国語(6人) 中国・中国語(1人)	教授者7人 補助通訳1人	小1~中1教科指導 (国語・算数・数学・英語) 小4 日本語指導
'10	10月9日 10:30 ~ 12:30	2h	12人	韓国・韓国語(10人) 中国・中国語(2人)	教授者7人 補助通訳1人	小1~中2教科指導 (国語・算数・数学・英語) 小4,小5,中1 日本語指導
'11	10月23日 10:30 ~ 12:30	2h	12人	韓国・韓国語(10人) 中国・中国語(2人)	教授者5人 補助通訳1人	幼稚園 ことばの遊び 小1~中2教科指導 (国語・算数・数学・英語) 小4,小5,中1 日本語指導
'12	11月13日 10:30 ~ 12:30	2h	12人	韓国・韓国語(9人) 中国・中国語(3人)	教授者8人	幼稚園 ことばの遊び 小1~中2教科指導 (国語・算数・数学・英語) 小4,小5,中1 日本語指導
'13	11月20日 10:30 ~ 12:30	2h	9人	韓国・韓国語(6人) 中国・中国語(3人)	教授者7人	幼稚園 ひらがな 小1~中2教科指導 (国語・算数・数学・英語) 小4,小5,中1 日本語指導
'14	11月27日 10:30 ~ 12:30 //	2h	4人	韓国・韓国語(3人) 中国・中国語(1人)	教授者3人	幼稚園 ひらがな 中2~中3 教科指導
'15	12月11日 10:30 ~	2h	20人	韓国・韓国語(14人) 中国・中国語(4人)	教授者7人	幼稚園~小6 お楽しみ会

	12:30			エジプト・英語(2人)		中11～中3教科指導 (国語・算数・数学・英語)
'16	12月18日 10:30～ 12:30	2h	15人	韓国・韓国語(11人) 中国・中国語(2人) エジプト・英語(2人)	教授者7人	小1～中3教科指導 (国語・算数・数学・英語) 小4,小5,小6,中1,中2 日本語指導
'17	1月8日 10:30～ 12:30	2h	13人	韓国・韓国語(13人)	教授者7人 補助3人	小1～中3教科指導 (国語・算数・数学・英語) 小4 日本語指導
'18	1月22日 10:30～ 12:30	2h	17人	韓国・韓国語(13人) 中国・中国語(2人) エジプト・英語(2人)	教授者8人 補助3人	幼稚園 ひらがな 小1～中3教科指導 (国語・算数・数学・英語) 小4,小6,中2 日本語指導
'19	2月12日 10:30～ 12:30	2h	15人	韓国・韓国語(11人) 中国・中国語(2人) エジプト・英語(2人)	教授者8人 補助3人	幼稚園 ひらがな 小1～中3教科指導 (国語・算数・数学・英語) 小4,小6,中2 日本語指導
'20	2月19日 10:30～ 12:30	2h	5人	韓国・韓国語(5人)	教授者6人 補助3人	中2～中3教科指導 小3教科指導 小4日本語指導
'21	2月26日 10:30～ 12:30	2h	4人	中国・中国語(1人) 韓国・韓国語(3人)	教授者4人	中1～中3教科指導 小4日本語指導
'22	3月26日 10:00～ 12:30	2.5h	11人	韓国・韓国語(7人) 中国・中国語(2人) エジプト・英語(2人)	教授者9人 補助3人	たこ焼きパーティー すごろく大会 クイズ大会

⑨ 特徴的な授業風景(2～3回分)





⑩ 活用した日系人等(日本語を母語としない)の名簿

氏名	母語(国籍)	来日年(日)数	参加回数	当該教室での役割
李 順玉	韓国語(韓国)	2009年	11回	授業補助, 通訳
沈 星輝	韓国語・中国語 (中国)	2005年	5回	授業補助, 通訳

⑪ 支援者の名簿(⑩以外)

氏名	所属	専門分野及び日本語教育に関する資格	参加回数	当該教室での役割
大崎紀子	我孫子市国際交流協会スタッフ 当校養成講座修了生	養成講座 420 時間修了	41 回	コーディネーター
中館まり子	元日本語教師 当校養成講座修了生	養成講座 420 時間修了	33 回	お母さん、子ども日本語指導
矢口奈緒子	インターカルト日本語学校講師 当校養成講座修了生	養成講座 420 時間修了	29 回	お母さん、子ども日本語指導
幣原裕子	インターカルト日本語学校講師 当校養成講座修了生	養成講座 420 時間修了	9 回	お母さん、子ども日本語指導
木村めぐみ	元日本語教師 当校養成講座修了生 通訳 中国語	養成講座 420 時間修了	11 回	お母さん、子ども日本語指導

穂坂晴子	武蔵野市教育委員会 教育支援課日本語指 導員 当校養成講座修了生	養成講座 420 時間修了	10 回	子どもの教科指 導
松原俊三	元高校校長		19 回	子どもの教科指 導
渡部桂子	インターカルト日本 語学校講師 当校養成講座修了生	養成講座 420 時間修了 日本語教育能力試験合 格	7 回	子どもの教科指 導
李 じひ	インターカルト日本 語学校講師 通訳 韓国語 当校養成講座修了生	養成講座 420 時間修了	2回	子どもの教科指 導
小西由希子	当校養成講座修了生	養成講座 420 時間修了	3回	子どもの日本語 指導
田中聡美	当校養成講座修了生	養成講座 420 時間修了 日本語教育能力試験合 格	2回	子どもの教科指 導
佐藤直哉	インターカルト日本 語学校講師 当校養成講座修了生	養成講座 420 時間修了	2回	子どもの教科指 導
井手本 敦	日本語学校講師 当校養成講座修了生	養成講座 420 時間修了	15 回	子どもの教科指 導
吉川正弘	元高校校長		10 回	子どもの教科指 導
高橋洋子	元小学校教師		11回	子どもの教科指 導
有田啓子	元小学校教師		7 回	子どもの教科指 導
内山貴恵	元 GCS メンバー		5回	子どもの教科指 導
中島聡子	元小学校教師		5回	子どもの教科指 導
鈴木良子	元小学校教師		5回	子どもの教科指 導

#### 4 事業に対する評価について（子育てのための日本語教室）

##### ① 当初の学習目標の達成状況

- ・国籍を越えてお母さん方がもつ悩みを、それぞれの国での考え方で積極的に日本語で話し、共有しあっていたことが当初の目標を達成できた点である。
- ・参加者が積極的にわからないおたよりや日本の文化・風習について質問してきた。

##### ② 学習者の習得状況

- ・大人の場合、どうしてもいちど身に付いた話し方の癖はなおすのに時間がかかるし、またなかなか訂正しにくい。そういった点を指導者側があらかじめ参加者に、了解を得て間違った日本語や気になる言い方については、なるべく指摘するようにした。何回も指摘するうちに、少しずつではあるが、本人にもその意識が芽生えて言い直したり、気づいたりしたことは進歩である。

##### ③ 日本語教室設置運営の効果、成果

- ・少しずつではあるが、口コミで本教室のことが知れ渡るようになり、参加者が友人を連れてきたりなど、こちらが懸命に参加者を探すのではなく、ここに来れば日本語教室があるということが外国人のお母さんたちに周知されてきたことは、設置した効果があったと考えられる。

##### ④ 地域の関係者との連携による効果、成果 等

- ・区の日本語教室で学んだことの復習を行ったりして、より深く理解ができるように手助けした。

##### ⑤ 改善点、今後の課題について（具体的に記述する。）

###### a. 現状

- ・既に来上上がっている韓国人コミュニティに属する人たちの参加が多い。
- ・初級レベルの参加者が少ない。また、最初に参加していても途中でやめてしまう。

###### b. 今後の課題

- ・コミュニティのない国のお母さんたちに参加してもらえるようにしたい。
- ・日本語ができなくても生活していく上では困らないと思っているお母さんは多いので、日本語の上達だけを目指すのではなく、ほかの意味をもつ教室でもあることをアピールし、色々なレベルの参加者を増やしていきたい。

###### c. 今後の活動予定、展望

- ・お母さん方それぞれにもつ悩みは多種多様であり、それを日本人に聞いてもらいたいと思っているお母さんも多い。これまで通り日本語指導を続けていくことはもちろんであるが、そういった悩みや困ったことを気軽に話すことのできる場の提供ももっと行っていきたい。

#### 4 事業に対する評価について（まるごと日本語教室）

##### ① 当初の学習目標の達成状況

- ・日常会話においては、「話す・聞く」の両方でほとんど問題がなくなった。
- ・言いたいことで言えないことや、どう言ったらよいかわからないことは、自分たちからすすんで指導者に尋ねてくるようになった。
- ・同じグループ(国籍や兄妹など)だけではなく、日本語で色々な人たちと話したり、協力したりしていた。
- ・苦手な教科に積極的に取り組む姿勢が見られるようになった。(小学生)
- ・中学生の保護者からは、成績が上がったとの声が聞かれた。

## ② 学習者の習得状況

- ・来日したばかりの学習者は、最初は指導者の言うことも全くわからなかったようであるが、最後にはほとんど理解していた。
- ・学校生活においても友だちができ、休むことなく通学している。
- ・日本語能力検定試験(N5)に2名が受験し、2名とも合格した。
- ・中学生の保護者からは、成績が上がったとの声が聞かれた。

## ⑥ 日本語教室設置運営の効果, 成果

- ・自分から教科学習のクラスへ移りたいという学習者がいた。
- ・学校行事以外ではほとんど全員が欠席することなく、毎回楽しみに参加していたようだった。幼稚園や学校以外で、日本語を使うことのできる場を作れたことには効果があった。
- ・中学生においては、苦手な教科に時間をかけながら学べる環境であったので、休まずに通う子どもが多かった。
- ・子どものお母さんたちから、今後も続けてほしいとの声が多くあった。

## ⑦ 地域の関係者との連携による効果, 成果 等

- ・募集のちらしを小学校の先生からもらったとあって、突然教室にやってきた親子がいた。学校の先生方の中に少しずつではあるが、この教室のことが浸透しだしてきているのではないかと思う。
- ・これまでは幼稚園に募集のお願いはしていなかったが、近隣の幼稚園に直接お願いに伺い、現状など貴重な意見を聞く機会も得られた。ちらしもおかせていただくことができた。前年度は小学校だけであったが、今年度は募集範囲が広がった。

## ⑧ 改善点, 今後の課題について(具体的に記述する。)

### a. 現状

- ・現在、教室に通っている子どもの国籍の大半が韓国で、あとは中国とエジプトである。
- ・日本語の上達度を知る具体的な方法がない。
- ・遊びの中から日本語を学んでもらおうとしすぎていて、子どもたちにその意図がつか

わっているのかが不安。

・国語は苦手な子が多く、なかなか向かおうとしない。

b. 今後の課題

・台東区内にはフィリピンやインド国籍の子どもも多数在住しているようなので、もっと色々な国の子どもたちが自由に参加できるような体制を整えていきたい。

・まだまだ日本語が不十分な子どもたちがいるはずなので、その子どもたちができるだけ多く教室に通うことができるように、告知と募集の方法をこれまで以上により多くの人の目に触れるよう、考えていかなければいけない。

・第1回と最終回、またはキリのよいところで、全く同じことをやってみるなどして、進捗状況を見るような方法を検討したい。

・各回の最後に「まとめ」のような時間を取り、最低限覚えておいてほしかったことなどを子どもが整理することができるような時間を作りたい。

・苦手な教科にどう向かわせるか、工夫が必要である。

c. 今後の活動予定, 展望

・もっと日本の季節感や文化を取り入れた内容のもので、子どもたちにより正しく日本のことを理解してもらえるような内容の活動を行っていきたい。

・ただ単なる「遊び」で終わってしまわないように、1つ何かを学んでいってもらえるような工夫をしていきたい。

・まだまだ学校や幼稚園に、このような活動をしている教室があることが知れ渡っていないようなので、もっと告知方法を考えてアピールしていきたい。現場の先生方だけでは限界がある外国人籍の子どもたちのケアを、連携して行っていきたい。

③その他参考資料

※写真は、肖像権等に配慮し、差し支えのないものを添付すること。